

# 第28回 画像センシングシンポジウム

The 28th Symposium on Sensing via Image Information  
(SSII2022)

## 発表募集 <http://ssii.jp/>

会期：2022年6月8日(水)～10日(金)

会場：パシフィコ横浜(ハイブリッド開催)

発表応募期限：**2022年3月1日(火)**

採否決定通知：**2022年3月15日(火)**

カメラレディ原稿提出期限：**2022年4月22日(金)**

応募原稿：A4サイズ1ページから8ページ

カメラレディ原稿：A4サイズ2ページから8ページ

『技術と出会う、人とつながる。』

### 【SSII2022での発表をおすすめする理由】

#### ■100件超の研究発表×2,000名超の参加者

- 研究成果を広く効率的に普及
- 対面・オンライン両方の参加者からの意見収集・研究議論・産業とのマッチングが可能！
- 全ての発表は各賞の候補に

## ごあいさつ

SSII2022実行委員長：大山 航(埼玉工業大学)

第28回画像センシングシンポジウム(SSII2022)における研究発表を募集いたします。本シンポジウムは毎年発展を続け、参加者数を増やしています。対面開催であったSSII2019は1,406名、オンライン開催となったSSII2020、2021では2,100名(うち学生は1,100名)を超える方々に参加していただきました。100件強の研究発表に対しこれだけ多くの方が参加されること、また、産業界からの参加者が非常に多いことが本シンポジウムの稀有な特徴です。発表者の皆様には、貴重な研究成果を効率的に広く普及していただけるだけでなく、産業界・学術界からの多くの参加者に対してご自身をアピールしていただけると共に、ディスカッションを通して今後の研究の方向性をより明確にしていただけると確信しています。

SSII2022のテーマは『技術と出会う、人とつながる。』です。このテーマには、SSIIが、新しい時代においてもこれまでと同様に、発表者の技術やニーズが参加者のニーズや技術と出会う場であること、技術やニーズを持つ様々な立場の人々がつながりを持ち、新たな価値を生み出す萌芽の場となることを目指す意味を込めています。産学が一堂に会するSSIIは、技術を学び、育て、また人・ニーズがお互いにつながりを持てる場として、前回までのテーマでもあった「産学連創」の推進に貢献したいと考えています。

SSII2022はハイブリッド形式で開催します。新型コロナウイルス感染症の拡大は、学術集会のあり方にも大きな変化を促しました。SSIIも過去2回をオンライン開催しましたが、発表者、参加者、スポンサー各社の皆様のご支援をいただき、新しい時代の学術集会としての価値と方向性を示せたと考えております。SSII2022では、前年度の経験、参加者の皆様の声を活かし、現地会場において対面でのインタラクティブ発表を基本とします。そして、オンライン参加者にも充実したコンテンツおよび意見交換する機会を提供できるハイブリット形式での実施を企画しております。その他、学術イベントの新たなあり方をお楽しみいただける企画をしております。

皆様の貴重な研究成果をぜひSSII2022でご発表いただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## ■本シンポジウムの目指すもの、発表論文の内容

本シンポジウムは、「画像センシング技術」を軸として、機械学習・パターン認識・人工知能(AI)活用技術など、さまざまな分野の方々が結集し、研究発表および議論を行う「良き場」となることを目指しております。

産業界にインパクトを与える先進的な基礎研究や挑戦的な問題提起から、今そこにある実課題への取り組みや、現場での実利用に欠かせないノウハウやエンジニアリングに関する発表まで広く募集いたします。

## ■インタラクティブ&ショートオーラルセッション

発表者と参加者の自由な研究コミュニケーションの場となるインタラクティブ&ショートオーラルセッションの発表を募集いたします。ハイブリッド開催となるSSII2022では、現地会場において対面のインタラクティブセッションを開催します。

インタラクティブ&ショートオーラルセッションでは、先進的な研究の発表のみならず、実利用を想定したシステムや創造的な工夫、実用化された特許など、大学・研究機関ならびに企業の方からの発表も多数お待ちしています。また、国際会議等で発表された既発表の内容を、SSIIの場で活発に議論したい、多くの方の意見を聞きたい、研究内容を広めたいという発表も歓迎いたします。なお、インタラクティブ&ショートオーラルセッションはSSII学術賞およびSSIIオーディエンス賞の選考対象となります。

SSIIでは2007年以降、発表者と参加者がインタラクティブに議論することこそが、皆が集結する会議の本質であるという考えのもと、インタラクティブセッションを最も重視した運営を行ってまいりました。SSII2020、2021では、コロナ禍に

おけるインタラクティブな議論の場として、事前収録された動画とビデオ会議を活用したオンライン・インタラクティブセッションを実施しました。SSII2022では、前年度の経験・参加者の皆様の声を活かし、対面での発表を基本としつつ、オンライン講師とも意見交換する機会を提供するハイブリッド形式での実施を予定しています。

なお、新型コロナウイルス感染症の再拡大などの理由により現地会場でのインタラクティブセッション開催が不可能となった場合は、SSII2021と同様のオンライン・インタラクティブセッションとなる可能性があります。また、新型コロナウイルス感染症に関連して、やむを得ぬ事情により会場での対面発表が困難となった発表者に対しては、オンライン発表への変更を認める措置をとります。

## ■応募方法および提出資料

発表応募および各種発表資料の提出は、Webサイト(<http://ssii.jp/>)で受け付けます。それぞれの書式もWebサイトからダウンロードできます。

発表応募時に、発表内容をA4サイズ1ページ～8ページにまとめた応募原稿をご提出ください。応募原稿に対し査読を行い、採否を決定します。

採録された発表の提出資料は以下の通りです。

- カメラレディ原稿：A4サイズ、2ページ～8ページ、PDF形式
- ポータルサイト掲出資料：スライド1枚の概要説明、PDF形式
- ショートオーラル動画：45秒以内の発表概要、mp4形式。ショートオーラルセッションにて再生します。
- 発表動画：最大1GB、mp4形式。ポータルサイトに掲載し、会期中に参加者が視聴します。

## ■優秀発表の表彰

SSIIでは発表に対し、以下の表彰を行います。

### (1) SSII学術賞

インタラクティブ&ショートオーラルセッションのご発表の中から、実用性・完成度・社会波及効果・プレゼンテーションなどのインパクトを総合評価し、優秀な技術発表を表彰いたします。

### (2) SSIIオーディエンス賞

インタラクティブ&ショートオーラルセッションのご発表の中から、聴講された参加者皆様の投票をもとに優秀な発表を閉会式で表彰いたします。

### (3) 画像センシング技術研究会高木賞

SSIIの創始者である故高木幹雄先生のご功績にちなみ、過去のSSIIで発表された研究成果の中から実用化の観点で社会に大きく貢献したものを画像センシング技術研究会高木賞として表彰いたします。募集要項はWebサイトをご覧ください。

## ■SSII2022についてのお問い合わせ

### 【画像センシング技術研究会 事務局】

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 アドコム・メディア(株)内  
Tel : 03-3367-0571 Fax : 03-3368-1519 Mail : [info@ssii.jp](mailto:info@ssii.jp)

SSII2022では、その活動にご賛同ください、ご支援いただけるスポンサーを広く募集しております。詳しくはWebサイト(<http://ssii.jp/>)をご覧ください。今回のハイブリッド開催という形式に即した、現地・オンライン両面で参加者との交流を図るイベント(ランチョンセミナー、オンライン・インタラクティブブースなど)を計画中です。ぜひ、ご検討ください。

## ■チュートリアルセッション

画像センシングに関する基礎理論や実用化が進む注目の技術、今話題のホットな技術について、第一線でご活躍の講師陣にわかりやすく解説いただきます。

## ■技術動向解説セッション

国際的な研究フィールドでアクティブに活躍されている若手トップ研究者をお招きし、世界最先端の技術研究動向をまとめて一挙に解説いただきます。今までに世界中が注目している最新技術や押さえておくべき動向を日本語で知ることができます。

## ■オーガナイズドセッション

実応用から基礎まで画像センシングの新しい応用&技術革新について期待が高まるテーマを選びります。

## ■特別講演

画像センシング関連分野をリードする第一人者をお招きし、技術革新や未来への展望に関する講演をいただきます。SSII2022では2件の講演を予定しております。ご期待ください。

## ■参加費

- 一般(発表、現地聴講、オンライン) : 25,000円(30,000円)
- 学生(発表、現地聴講、オンライン) : 無料
- グループ(現地聴講、オンライン) : 50,000円(一般3名分)

※参加費は5月10日までにWebにて事前登録していただいた場合となります。5月11日以降のお申し込みについてはカッコ内の金額となります。

※現地聴講希望者が会場定員を超えて多数となった場合は、申し込み区分ごとに抽選を行います。

※早めのお申し込み手続きをお待ちしております。

## ■展示会

1階の展示ホールでは、併設展示会 画像センシング展2022(入場無料)が開催されます。

### ● 画像センシング展2022

お問い合わせ:アドコム・メディア(株) Tel:03-3367-0571

<https://www.adcom-media.co.jp/iss/>

## ■主催: 画像センシング技術研究会

会長: 青木 義満(慶應義塾大学)

**【協賛】(予定)** 映像情報メディア学会 応用物理学会 可視化情報学会 画像電子学会  
計測自動制御学会 人工知能学会 情報処理学会 精密工学会 電気学会  
電子情報通信学会 日本印刷学会 日本顔学会 日本生体医工学会 日本核医学会  
日本機械学会 日本航空宇宙学会 日本材料学会 日本写真学会 日本写真測量学会  
日本超音波医学会 日本バーチャルリアリティ学会 日本非破壊検査協会  
日本リモートセンシング学会 日本ロボット学会 溶接学会 レーザー学会

**【協力】(予定)** 電子情報通信学会 パターン認識・メディア理解研究会

情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会

精密工学会 画像応用技術専門委員会

電気学会 非整備環境における知的センシング技術調査専門委員会

## ■SSII2022実行委員会

実行委員長: 大山 航(埼玉工業大学)

◆実行幹事: 川西 康友(理化学研究所)、白井 啓一郎(信州大学)、藤原 孝幸(北海道情報大学)

◇運営委員会: 門馬 英一郎(委員長:日本大学)

◆財務部会: 西山 正志(部会長:鳥取大学)、藤原 孝幸(副部会長:北海道情報大学)、波部 斎(顧問:近畿大学)

◆庶務・会場部会: 福田 悠人(部会長:群馬大学)、亀田 裕介(副部会長:上智大学)、山口 友之(筑波大学)、伊藤 康一(東北大学)、榎並 直子(武庫川女子大学)、木村 大毅(顧問:日本IBM)、高橋 巧一(顧問:NEC)

◆広報・出版部会: 久保 尋之(部会長:広報:東海大学)、峰松 翼(副部会長:広報:九州大学)、紋野 雄介(顧問:広報:東京工業大学)

小篠 裕子(部会長:出版:東京電機大学)、井上 中順(副部会長:出版:東京工業大学)、金子 直史(顧問:出版:青山学院大学)

◆リエゾン部会: 石井 雅人(部会長:ソニーグループ)、青山 秀紀(副部会長:パナソニック)、中村 克行(顧問:日立製作所)

◇プログラム委員会: 山下 隆義(委員長:中部大学)、中澤 満(副委員長:楽天グループ)、島田 敬士(副委員長:九州大学)

◆チュートリアルセッション部会: 中村 克行(部会長:日立製作所)、柴田 剛志(副部会長:NTT)、内山 英昭(奈良先端科学技術大学院大学)、小林 貴訓(埼玉大学)、大谷 まゆ(サイバーエージェント)、川上 瑞(東京工業大学・デンソーアイティーラボラトリ)、島田 敬士(顧問:九州大学)

◆オーガナイズドセッション部会: 片岡 裕雄(部会長:産業技術総合研究所)、平川 翼(副部会長:中部大学)、五十川 麻理子(NTT)、千葉 直也(早稲田大学・オムロンサイニックス)、小塙 和紀(パナソニック)、佐藤 育郎(顧問:東京工業大学・デンソーアイティーラボラトリ)

◆インラクティブ&ショートオーラルセッション部会: 秋月 秀一(部会長:中京大学)、原 健翔(副部会長:産業技術総合研究所)、神谷 卓也(東芝テック)、小山田 雄仁(顧問:鳥取大学)

◇表彰小委員会: 入江 豪(委員長:NTT)、田中 正行(顧問:東京工業大学・産業技術総合研究所)

## ■組織委員会

青木 義満(慶應義塾大学)、浮田 浩行(徳島大学)、内田 祐介(Mobility Technologies)、梅田 和昇(中央大学)、奥富 正敏(東京工業大学)、加藤 邦人(岐阜大学)、斎藤 英雄(慶應義塾大学)、佐藤 雄隆(産業技術総合研究所)、塙原 守人(富士通研究所)、清水 穀(山梨大学)、鶴見 和彦(青山学院大学)、諏訪 正樹(オムロンサイニックス)、田中 正行(東京工業大学・産業技術総合研究所)、田嶋 雅基(パナソニック)、谷口 倫一郎(九州大学)、谷口 恭弘(本田技術研究所)、千葉 直樹(KPMG Ignition Tokyo)、寺田 賢治(徳島大学)、中島 延人(電力中央研究所)、長原 一(大阪大学)、中村 克行(日立製作所)、庭川 誠(明電舎)、野口 稔(日立ハイテクソリューションズ)、橋本 学(中京大学)、藤吉 弘亘(中部大学)、堀 修(東芝)、満倉 靖恵(慶應義塾大学)、三和田 靖彦(YYCソリューション)、望月 貴裕(日本放送協会)、山下 隆義(中部大学)、横山 敦(京セラ)

名誉顧問: 中島 真人(慶應義塾大学)

顧問: 輪水 大和(中京大学/YYCソリューション)

監事: 油田 信一(芝浦工業大学)、久野 義徳(埼玉大学)

# 第28回

# 画像センシングシンポジウム

The 28th Symposium on Sensing via Image Information

# SSII2022

2022年6月8日(水)～10日(金)

パシフィコ横浜(ハイブリッド開催)

## 発表募集

Call for Papers

発表応募期限:

2022年3月1日(火)

採否決定通知:

2022年3月15日(火)

カメラレディ原稿提出期限: 2022年4月22日(金)

応募原稿: A4サイズ1ページから8ページ

カメラレディ原稿: A4サイズ2ページから8ページ



<http://ssii.jp/>